

# 平成 1 6 年度学校経営計画表

## 1 学校の現況

学校番号	5 1	学校名	県立鹿島高等学校				課程	全日制 普通科		学校長名	小沼 恒敏					
教頭名	仲澤 進								事務(室)	市村 安永						
教職員数	教諭	4 5	養護教諭	1	常勤講師	4	非常勤講師	2	実習教諭, 実習講師, 実習助手	1	事務職員	3	技術職員等	2	計	58
生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		合計クラス数				
	普通科	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	2 3				
		131	148	134	185	151	164			416	497					

## 2 目指す学校像

道義と秩序を重んじ、自己に責任を持ち、学問と真理を愛好し、自他の敬愛と協力によって豊かで快活な生活のできる生徒の育成。

## 3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
教科指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業時間の交換率や填補率が100%になっていない。</li> <li>生徒の家庭学習の平均時間が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業時間の確保と生徒一人ひとりの家庭学習の習慣化</li> </ul>
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティア活動への理解を図る時間が少ない。</li> <li>文化部への加入率が10.7%、体育部の加入率が31.6%であり、合計しての加入率が42.2%で過半数に満たない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティア活動への自主的参加</li> <li>部活動の加入率、特に女子生徒の加入率を上げる。</li> </ul>
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎日40人(約4%)程度の生徒が遅刻をしてくる。</li> <li>頭髪や服装で指導を必要とする生徒がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣の確立(遅刻・頭髪・服装など)</li> <li>諸々の問題等への教職員の共通理解と協同</li> </ul>
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>国公立大学への合格者が二桁に及ばない。</li> <li>インターシップへ参加する生徒が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国公立を含めた大学への進学向上</li> <li>就職率100%を目指す。</li> </ul>
環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3棟の空き教室等の整備がされていない。</li> <li>清掃の徹底が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校全体の環境美化(特に毎日の清掃の徹底)</li> <li>空き教室の効果的利用</li> </ul>
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>体力テストにおいて男子の1/4、女子の半数がC以下の生徒である。</li> <li>朝食をとらないで登校する生徒がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体力向上が急務である。(特に持久力と女子生徒の体力アップ)</li> <li>毎日朝食をとって登校させる。</li> </ul>

## 4 中期的目標

1	生徒が意欲を有し、学習に取り組むよう、生徒のニーズを把握するための意識調査などを行う。また、学習
2	に對する相談や進路の相談者数を増やす。また、学習意欲を高めるための目標意識を明確にし、その継続を支援する。
3	生徒の自主的・積極的な学習活動の充実を図る。また、学習意欲を高めるための目標意識を明確にし、その継続を支援する。
4	生徒の自主的・積極的な学習活動の充実を図る。また、学習意欲を高めるための目標意識を明確にし、その継続を支援する。
5	生徒の自主的・積極的な学習活動の充実を図る。また、学習意欲を高めるための目標意識を明確にし、その継続を支援する。

## 5 年次ごとの重点目標

年次	重点目標	具体的目標	達成状況
1年次	学習に対する意欲を向上させる。夢や希望を継続的に持ち続け、その実現のために努力させる。自分たちの学校を自分たちで築くという気概を持たせる。体力の向上を図る。	家庭学習時間のアップを図るため、課題等を定期的に与える。学習委員会の設置し、向上策の検討やその実施に努める。進路目標の早期明確化のため、三者面談や相談活動を充実させる。徹底や挨拶の励行、制服の整然とした着用など、規律の育成に努める。掃除の取率を上げる。朝食の摂取を計画的、継続的に実施する。体力の向上策を画的、継続的に実施する。	
2年次	学習環境の整備に努める。 学校行事の見直しとともに、生徒の自主活動を支援する。健康教育・安全教育の充実 ボランティア活動の推進	空き教室の利用を効果的に行い、学習環境の整備に努める。 生徒が主体となって、企画・運営を行うなど生徒の自主活動を活性化。安全な学校生活を自主的に送れるよう指導するとともに、特に性教育などの推進に努める。未だ一人一校を建てよう、活動の完結を踏まえ、その経験を推進する。その他各種のボランティア活動への積極的参加を推進する。	
3年次	指導方法の改善や工夫 生徒会活動の充実 部活動の充実 資格取得の奨励	指導方法の改善や工夫に寄与するため、公開授業や研究授業を行う。生徒の自主活動を尊重し、活動を通して生徒のリーダーシップや人間関係を育む。部活動（文化部や体育部）に積極的に参加させ、高校生期の活動の意義を理解させる。進路選択を考慮し、積極的に資格の取得を行う。	